



「新生前橋」に向けた積極的な市政を

16年度予算と事業

平成十六年度の各会計予算が先月の市議会第一回定例会で可決。総額二千二百四十億五千六百八十万円になりました。ここでは主な施策や事業などを紹介します。なお、金額の一万円未満は端数整理しました。

平成16年度各会計予算			はマイナス
会計名	当初予算	伸び率	
一般会計	1,129億5,493万円	9.9%	
特別会計	国民健康保険	224億 810万円	5.8%
	老人保健	228億4,101万円	4.4%
	競輪	309億4,418万円	13.3%
	嶺公園	2億1,999万円	2.4%
	農業集落排水事業	10億2,307万円	76.5%
	介護保険	125億9,482万円	7.3%
	計	900億3,117万円	1.5%
企業会計	水道事業	88億8,619万円	8.9%
	下水道事業	121億8,452万円	0.9%
	計	210億7,071万円	4.4%
合計	2,240億5,680万円	3.6%	

市長説明のあらまし

市議会で高木市長が説明した平成十六年度予算の概要は、次のとおりです。

県都前橋の再生を願い、新しい息吹を求める多くの市民の皆さんの期待を胸に、「新生前橋」の展望を開く第一歩を踏み出す決意を新たにしています。

予算編成では、わたしの基本理念である「風光る前橋」を目指し、すぐに実行できること、すぐに変えら

れること、さらには任期中に実現を図ることなどを念頭に置きました。歳入歳出の均衡を図りながら、市民の皆さんのために生きた予算となるように努めたところです。

特に、「都市の顔」である中心市街地に元気を取り戻すための施策や、地域経済の活性化を促進させるための生活密着型の公共事業は、暮らしやすいまちづくりを推進するため、積極的に取り組みました。また、平

成十二年から取り組んでいる環境基本計画をより具体化するため、「環境都市宣言」に向けて準備を進めるとともに、児童文化センターに環境公園の機能を持たせることを検討します。

これらをはじめとした施策を展開するに当たって、財政の健全性を保ち、無理無駄をなくすよう努めながら、行政の継続性にも十分に配慮しました。この結果、一般会計の予算は千二百一十九億五千四百九十三万円、対前年度九・九%増、減税補てん債の借り換えや、土地開発公社へ

の貸付金償還に伴う旧国鉄清算事業団用地の引き取りという特殊要因があるため、これらを除く実質的な伸び率は〇・七%となりました。

この伸び率から、地方財政計画や県内の各市と比べて積極的な予算になつたと考えています。明るく元気に、楽しい市政づくりを市民とともに進めることが重要です。広く市民の参加を求めながら各施策に取り組みます。また、予算計上されていない施策も今後検討を重ね、この四年間で新生前橋を構築できるよつ、最大の努力を傾けていきます。